

保土谷化学グループの価値創造プロセス

保土谷化学グループは、内外の環境変化、ステークホルダーの皆様からの要請を踏まえ、私たちが目指す企業像を、「スペシャリティ製品を軸としたオリジナリティにあふれるポートフォリオと環境に優しいモノづくりで、持続可能な社会の実現に貢献する企業」としております。これからも、「化学で夢のお手伝い」をキャッチフレーズにそれぞれの事業活動から創出された価値を通じて、社会課題を解決し、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

PURPOSE

私たちは、化学技術のお客様が期待し満足する高品質の環境調和型の生活を

～経営理念～

絶えざる革新を通じ、製品・サービスを世界に提供し、文化の創造に貢献します。

VISION

～目指す企業像～

スペシャリティ製品を軸としたオリジナリティにあふれるポートフォリオと環境に優しいモノづくりで、持続可能な社会の実現に貢献する企業

地球環境

社会

外部環境認識

人
(会社と組織)

ガバナンス

リスクと機会
▶ P.17-18

インプット (2022年度)

財務資本

価値創造を実現する財務基盤・投資

- ・純資産 49,897百万円
- ・1株当たりの純資産 5,405.73円
- ・自己資本 42,835百万円
- ・有利子負債 10,521百万円

人的資本

自ら学び考え行動できる人材

- ・連結従業員数 890人
- ・海外従業員比率 30.6%
- ・人件費 2,505百万円
- ・1人当たりの教育投資額(個別) 72千円
- ・1人当たりの平均研修時間 106.6時間

知的資本

グローバルな競争力を支える技術・協創基盤

- ・産学共同(新規素材開発)実施
- ・研究開発費 4,939百万円
- ・売上高研究開発費率 11.4%
- ・知的財産保護に関するノウハウ

製造資本

グローバルに展開する生産拠点

- ・グローバルな生産拠点体制
生産拠点数(国内3拠点、国外1拠点)
- ・設備投資額 3,100百万円
- ・売上高設備投資比率 7.2%
- ・環境配慮原材料の使用

社会・関係資本

さまざまなステークホルダーとの共創を通じた長期的な顧客基盤、信頼関係

- ・保土谷化学とパートナーが同レベルの調達方針
- ・販売子会社(国内6社、海外4社)
- ・安心・安全な製品の開発、製造体制
- ・106年の歴史で積み上げた信頼とHCCブランド

自然資本

資源の効率活用

- ・エネルギー消費量(原油換算) 27,562kl
- ・水使用量 10,680千t

強み

長年にわたり積み上げてきたチカラ

揺るぎない3つの基盤技術力

高純度化技術力

機能素材開発力

機能素材評価力

進化し続ける3つの企業力

価値創造力

研究開発力

生産技術力

強み ▶ P.16

ビジネス モデル

常に高品質の製品・サービスを提供

研究開発

最先端の研究テーマに基づき、次代をひらく技術を追求

生産

「環境」と「安全」を考えつくした質の高いモノづくりを推進

独自の技術力・ネットワークを活かして多種多様な要望に対応

販売

社会ニーズ・顧客ニーズを的確に読み取る力

中期経営計画 SPEED25/30

事業強化・新製品創出・生産性向上・経営基盤強化・戦略投資の実行・サステナビリティの推進・DXの推進 ▶ P.22-24

レスポンシブルケア ▶ P.41

人権の尊重 ▶ P.49

コーポレート・ガバナンス ▶ P.51

コンプライアンス・リスクマネジメント ▶ P.58-59

価値創出を 支える基盤

アウトプット (2022年度)

セグメント別売上高

43,324
百万円

機能性色素
17,990百万円
41.6%

機能性樹脂
11,580百万円
26.7%

基礎化学品
7,152百万円
16.5%

アグロサイエンス
4,628百万円
10.7%

物流関連
1,874百万円
4.3%

事業概要 ▶ P.32-36

アウトカム

経済価値

企業価値向上に向けた資本政策

- ・DOE 1.4%
- ・10年間のTSR +78.8% (年率+6.0%)

人的価値

働きやすい環境を創出し、多様な人材の活躍

- ・従業員エンゲージメント向上
- ・海外売上比率 51%
- ・女性管理職比率 11%
- ・「健康経営優良法人」3年連続取得
- ・育児休暇取得率 男 83% 女 100%
- ・有給休暇取得率 71%
- ・コンプライアンス検定取得率(国内) 99.2%(管理職)

知的価値

新たなイノベーションを創出し、企業価値を向上

- ・売上高に対する新製品比率向上

製造価値

事業拡大のための競争優位性の向上

- ・韓国SFCバイオ棟の新設
- ・環境配慮製品の拡大

社会価値

事業活動を通じた地域環境への配慮

- ・グローバルレベルの調達方針の遵守
- ・法令違反ゼロ、休業災害ゼロ
- ・社会貢献活動 14百万円

環境価値

地球環境問題への配慮

- ・エネルギー原単位 0.636kl/売上高百万円
- ・CO₂排出量(SCOPE1+SCOPE2) 4.57万t(1.055t/売上高百万円)
- ・水排出量 10,684千t
- ・産業廃棄物発生量 3,477t

マテリアリティ ▶ P.19-20

インパクト

IT・通信分野

・豊かなスマートライフの実現に貢献

メディカル・ヘルスケア分野

・人々の健康維持と安全・安心な医療サービスの提供に貢献

建築・インフラ分野

・建築用材料の提供を通じた建築物の安全・耐久性の向上

食品分野

・安心・安全で豊かな食生活の実現への貢献

日用品分野

・安心・安全で快適な暮らしをサポート

輸送・物流分野

・安全な物流機能の提供